

非常警報設備試験結果報告書 試験実施日 年 月 日 試験実施者 住 所 氏 名 印										
用 途	() 項 ・			収容人員	名					
延べ面積	m ²			階 数	地上	階	地階	階		
非常ベル・自動式サイレン	項目 機器	設 置 台 数	型 式			定 格 電 圧				
					A C (V)		D C (V)			
	操 作 部									
	起 動 装 置									
	表 示 灯									
	音 響 装 置									
	複 合 装 置									
一 体 型										
放送設備	増 幅 器	型 式			定 格 電 圧		定 格 出 力			
					A C V D C V		W			
	操 作 部	放 送 区 分				回 線 数				
		一 斉 階別等選択可能				／				
	スピーカ－	配線方式	型 式		スピーカ－の種類		音 圧		施 設 方 式	
		2 線式	ホーン型 個	L 級 個	L 級 dB		壁掛型 個			
3 線式		コーン型 個	M 級 個	M 級 dB		埋込型 個				
その他	そ の 他 個	S 級 個	S 級 dB		その他 個					
起動装置（自動火災報知設備を除く。）		押しボタン 非常電話 その他 (個)								
試 験 項 目			種 別 ・ 容 量 等 の 内 容						結果	
外 観 試 験	増幅器・操作部・遠隔操作器	設 置 場 所								
		周囲の状況・操作性	――							
		設 置 状 況	――							
		構 造 ・ 性 能	――							
		操 作 部	床面からの高さ						m	
		予 備 品 等	――							

試 験 項 目		種 別 ・ 容 量 等 の 内 容						結果			
外 観 試 験	電 源	常 用 電 源		V							
		非 常 電 源 の 種 別		非常電源専用受電設備・蓄電池設備							
	起動装置・ 非 常 電 話	設 置 場 所 等		_____							
		構 造 ・ 性 能		_____							
		非 常 電 話 収 納 箱		_____							
	表 示 灯 ・ 標 識 板	設 置 場 所 等		_____							
		構 造		_____							
	ベ ル ・ サイレン・ スピーカー	設 置 場 所 等		_____							
		構 造		_____							
	機 能 試 験	増幅器・遠隔 操作器・操作 部及び複合装 置	階 (系統)								_____
回 路 選 択 試 験											
起動装置 試 験			非 常 ベ ル ・ 自 動 式 サ イ レ ン								
			放 送 設 備								
			非 常 電 話								
音響装置 試験 (dB)			鳴 動 方 式 試 験								
			作 動 試 験	ベ ル ・ サ イ レ ン ス ピ ー カ ー	L 級						
					M 級						
					S 級						
					回 路 短 絡 試 験						
非常電源 試 験			電源の自動切替機能		_____						
			端 子 電 圧 ・ 容 量		V AH						
一 般 放 送 停 止 試 験											
備 考											

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。

3 結果の欄には、良否を記入すること。

4 非常電源（内蔵型以外のもの）及び配線についての試験結果報告書を添付すること。

5 操作盤が設けられているものにあつては、操作盤についての試験結果報告書を添付すること。